

共同研究プロジェクト

「日・中・英の諺による異文化の比較研究」

活動報告

陸 君・永野 貴子

本プロジェクトでは、グローバリゼーションの現代社会における人間関係を円滑に進めるため、日本語・中国語・英語における諺を比較し、それぞれの文化における考え方や智慧を理解し、互いに尊敬し合うまき付き合っていくことができる方策の一つを探る研究をその目的としているものである。

1年目にあたる本年度は、(1)：本学の学生達が諺に対してどのような意識を持っているのかを調査し、今後のボーダレス社会におけるコミュニケーション樹立方法を探る糸口を見いだすことを主眼にアンケートを実施する。

(2)：英語文化圏における諺の日常的な活用方法について講師を迎えシンポジウムを実施する。

(3)：(1)のアンケートを入力し、集計法を考察する。

第一回研究会

(テーマ1) 「英語と日本の諺について」

(講 演) ジェームス=ホービー

京都文教中高等学校非常勤講師

(テーマ2) 「時間と金銭に関する文化の相異」

陸 君

本学准教授

(日 時) 2009年12月16日(水)

18:00~19:30

(場 所) 京都文教大学

普照館2階共同研究室 F232

(参加数) 16名

研究アンケート実施

(テーマ) 「日常生活における諺の活用」

(日 時) 2009年12月初旬~中旬

(対象人数) 1回生から4回生まで計296名

学生の属性を10種類に分け、諺に関する認知および活用について問う